# 常磐毎日新聞

日刊

五月二十四日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月金九拾錢 [illegible]
廣告料 普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

## 擧縣一致の態勢で
## 小名濱港改修猛進
### 君島知事を會長として
### 期成同盟會結成の準備
### 目指すは　豫算確保

本縣唯一の商工港である小名濱港は過般第一期工事完成したが第二期工事を實施せねば佛作つて魂入れずの結果になるので縣では總工費三百萬圓五ヶ年繼續改修工事を計畫し明年度から着工すべく準備を急いでゐるものゝ時局柄これが實現は簡單にゆかないので君島知事を會長として本縣選出貴衆兩院議員、財界政界の有力者並に縣内有力者を網羅する強力な「小名濱港第二期改修工事期成同盟會」を結成擧縣一致の態勢を整へ内務省の明年度豫算編成を目指して豫算確保の猛運動を展開することになり目下土木部と具体案の作成を急いでゐるといふ

### 齒科醫同窓

常磐　日本齒科醫專同窓會は二十八日平市谷口樓で開かれる

## 古鐵專問
## 竊盜逮捕

目下住居不定前科一犯宮城縣名取郡六鄕村生れ山田良次郎(四二)は去る二十日夜平市長橋町吉健鐵工所の倉庫へ侵入炭車々輪價格十三圓を竊取した外同町古物商武藤治郎三郎氏外數ヶ所から古鐵專問に竊盜を働いたこと發覺今二十四日平署に檢擧されたが内鄕村大字小島古物商菅波友次郎(五三)もこれが仲立ちとなり一儲けしてゐたこと判明檢擧された

## 明日の天氣を
## 太鼓判で請合ふ
### けふの雨は不連續線
### 小磯所長が語る

けふの雨に就いて小名濱測候所の小磯所長に氣壓の配置を聞くに

滿洲の南から九州の南部にかけて一帶に不連續線が流れて居るので曇天となり降雨となつたもので氣壓は高きが七五五八ミリ、低きが七五二ミリで其差僅かに六ミリ位であるから風の吹く憂れもないし今夜の降雨は免れぬが明朝は發後晴れる事は大丈夫

## 凶作型の氣象に
## 極力早植を勸奬
### 米穀增産計劃確保

昨今の氣溫が著しく低下し豐作三年の後を受けて凶作懸念が無いでもないが夫れに對應しては第一に田植を早めることを肝要とされ縣としては米穀增産計劃の折柄でもあり共同作業、農具の共同利用によつて極力早植を勸奬、石城農事試驗場では左記注意書を發表した

▽堰水の引込みを成るべく早く行ひ勞力の分配融通により早植すること

▽厚まきの苗代は長く置くと軟弱となり病虫害にかゝり易いから早植を第一とする

▽挿秧直前四斗式過石灰ボルトー液を撒布すること

▽風水病虫害にかゝり易い地方は豫め殘苗を假植して置き補植に備へること

▽本田肥料特に過燐酸石灰不足のため植付を遲らすことなく不足分は一番除草のとき追肥する

## 飲食遊興に
## 投じた税金
### 最初の四月分
### 平市は五千九百圓

平税務署管内最初四月分の國税飲食遊興税は事變下にも似ず△平市八十軒五千八百六十二圓九十五錢△石城郡九十五軒四千百四十九圓四十錢合計百十五軒の一萬三百十二圓五錢に達したと

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

## 小名濱信組長
## 長瀨氏の表彰

小名濱町信用組合長は創立當時より專務理事として就任し組合長小野四郎氏死亡後は組合長に就任して既に二十年終始一貫組合事業の爲めに盡瘁し治績を擧げ地方産業の金融機關たる使命を果す上に甚大の效果を擧し組合の基礎愈々强固を加へ來たり其手腕は一般の容認し得る處であるが去る二十日若松市に催されたる全國信組聯合會福島支部第二十七回の總會に於て其功勞を認められ支部長本縣知事の名に於て表彰されたるは既報の通りであるが氏は此の光榮を一般組合並びに知人に頒つ可く披露の淸宴を張る事になり準備中であると

## 盜んだ金で洋裝
### レビュー志願の少女
### 驛頭に現れて捕る

平署では二十一日午後六時頃市内田町青物商大塚文吉さん方に押入り現金四十圓とクローム側腕時計この價格十九圓を竊取した犯人あり搜索を行つてゐたが二十三日平市五丁目周旋業某二女某(一二)の所爲と判明、盜んだ金で洋服や帽子、靴等を買込んで着用颯爽と上京しやうと平驛前へ現れたところを檢擧した

同人はこれまで數回に亙り竊盜や萬引を働き檢擧されたことのある不良少女で取調べの係官に對し上京してレビュー團に入るつもりだつたと自供してゐる、背後關係はない模樣

## 光榮の代表生徒
### 無事大任を果して
### 校旗を先頭に歸る

晴の御親閲に參列した平市内磐中平商兩中等學校の代表は無事大任を果し感激を胸に抱いて二十三日各生徒の出迎へを受け校旗を先頭に堂々市内を行進歸校した

## 縁起を擔ぐ
## 新調の御輿に
## 雨の心配
### 今度は干天の逆か
### 鹿島さま恐ろし

小名濱町西町部落の鎭守鹿島神社の氏子間には幾度か神輿新調の議が起つたがその度毎に不思議にも干魃で困り拔いた爲め縁起を擔いて延々となつて居たが愈よ鮫川疎水も竣工して灌漑水が充分となつたので本年こそは干魃の心配なしと氏子協議の上三千圓の大枚を奮發して神輿を新調明二十五日を期し出兵將士の武運長久祈願祭を執行し何十年振りかで神輿の渡御を見る譯だがその祭を前に控えてけふ雨が降り出したので今度は干魃の逆かと氏子達は氣を揉んで居る

### 磐女勝つ

既報磐女職員對平市役所の野球戰は二十三日午後四時から櫻ヶ丘で擧行、十三對八で磐女が捷つた

小名濱支局通信

## 作山江名町長の時局認識（上）

支局長　小野　務平

江名町が作山町長就任以來僅かに二年内外に過ぎぬが治績揚り民福向上め一途を辿りつゝある事は今更喋々を要しない處であるが恰も此の國家未曾有の事變に處して如何なる施設に依つて此の非常時を乘り切るかは一口作山町長の手腕力量に俟つより外に道がない記者は二十年來の知己でもあり相互城壁を設けざる間柄でもあるので何時も遠慮ない談論を相交して時の移るを忘ると云ふのが兩者間の常である

然るに町政に多忙を極めたる町長と社務に緊束さるゝ記者とは正反對に起弃の形を換へて居るので歡談を交はし笑談を重ねる事が實は半歳にも及ぶ事が珍らしくもない、回顧すると二月上旬頃だと記憶する植田町鈴木君を拉して江名役場に町長を尋ねたの事は既に百何日かが流れて居る其間全然會談の機會がないでもないが僅かに擦れ違ひの間に寒暖の辭令位で味もソツケもあつたものでない

こんな事で村町調和の要論を談じ込む事などは出來るものでない事が判りきつて居る用件とて之れそのものと云ふ重要性のものはないが同轄滑脫式のある溫容に接して爾來欝積して居る胸中の奇を吐露して見たいと云ふ意氣が矢も楯も利かぬ程吾が心膽を狂はして來た

二十三日午前六時電話で在か不在かを聞けば今日こそ挺子でも動かぬ何時でもよいから來いと云ふ敗れの陣地に確めたかの觀を呈して居る形である喜び勇んだ記者は午前九時と云ふ時に陣地たる江名町役の町長室を襲つた先づノツクするとサーと相變らざる愛嬌のゑくぼを見せて一段と强い歡迎振りは全く攻むる武器を鈍らす底の外度秘術には最初の一方に於て敗北の形である

机上十四五に餘る茶器の使つた茶椀を見るにつけて既に十四五の訪問容が次から次ぎと方附け去つた事を伺はれ更に記者以外三人の來客さへあるに見ては其多忙さに如何に忙殺されて居るかが如述に見受けらるものである事を知つた（未完）

### 大浦村葬

既報、前線で散華した大浦村出身歩兵伍長芳賀五郎吉君の村葬は三十一日午後一時から同村小學校で執行される

## 幽靈人夫で
### 金を捲き上ぐ

勿來町大日本炭礦坑夫野崎信治(三三)は去る一月中山形縣の某工事場から人夫蒐集に來てゐた小田仲周吉(四〇)に人夫三人を世話するからとて二十五圓を捲き上げた上友達三人を例につかつて湯本町に連れ出し前祝だと散々遊興した末いよ／＼今晩出發されるからと更に十五圓を捲上げたこと發覺二十四日植田署に檢擧されたが同署では最近勞力不足からこの種の犯罪がめつきり多いので徹底的取締に乘り出すことになつた

拔へのドに小名濱信用組合に貯金する金額は十三年三月現在で一萬三千二百八十二圓九十五錢に對し十四年同期は一萬五千九百二十三圓四十八錢となり一ヶ年二千六百四十圓餘の增加を示して居る此の筆法で進むとすれば數年後には數萬圓の金額に達し眞に貯金報國の實を擧げ得るであらうと長瀨組合長は一人喜んで居る

## 折角の晝寢を……
## 口笛で邪魔され
### 金棒で胸を突き刺し
### 瀕死の重傷

好間村行人澤日出平礦業所坑夫市川三之助(三六)は目下傷害罪で平署に檢擧され取調べを受けてゐる同人は二十二日午後二時頃合宿所で晝寢中坑内から上つて來た同僚の今井賢次(三三)君が口笛を吹きながら入つて來たのに憤慨長さ四尺の金棒で賢次君の左胸部を突き刺し瀕死の重傷を負はせたものである

## 田植季を前にし
## 勞力移動班組織

石城郡農會では田植季を前にしていよ／＼勞力移動班を結成することになり二十八日午前十時から平團体事務所に左記關係村の當事者を招き協議することになつたが一村五班位の方針で結成方を奬勵する筈である

入遠野、飯野、高久、好間、草野、磐崎、豐間

## 小名濱學童達の
## 貯金報國の實績
### 著しく金額が躍進

小名濱校で五十年計畫の一錢貯金を生徒に課したのは會田校長晩年の事業の一つで現に壹萬圓を超過した金額となり學校建築費などに運用され年々と增額して居るがこの以外に事變下に貯金報國の赤誠から生徒の自發的貯金思想の勃興となり學校

## 幼兒を轢き倒す
### 交通安全デーの事故

皮肉！交通安全デーの事故――内鄕村上田炭礦運轉手藤山長三郎(三三)は二十三日午前十一時頃トラツクを運轉同村大字小島字新町地内を疾走中同村木賃宿佐藤大次郎さん三男明君(五)を轢き倒し頭部右腕等に重傷を負はせた、明君は目下平病院で手當中だが生命危篤である

## 植田の旅館は
## 茶代を全廢

植田署管内二町八ヶ村の旅館業者は去る二十二日總會を開き旅館業組合を結成役員を△組合長牧野進△副組合長川中安次郎鈴木定助△會計志田うめと決定した外宿泊料を△一等地五圓、四圓△二等地三円五十錢、三圓、二圓五十錢△三等地二圓五十錢、二圓、一圓五十錢△四等地二圓一圓五十錢、一圓二十錢、一圓と決定したが半泊料は宿料の三割、茶代は全廢、女中のチツプも五圓未滿は二割、五圓以上十圓未滿は一割五分、十圓以上は一割ときめ客の便をはかることになつた

## 人絹合同
### 記念の增給

錦村昭和人絹は既報の如くこの程吳羽人絹と合同二十一日正式に看板替へをしたがこれを機に同工場では男工十錢、女工五錢の一齊增給を行つた

## 鉛管泥
### 餘罪も發覺

錦村中田昭和人絹工場職工某(一九)は去る二十三日工場から鉛管一ヶを盜んだこと發覺今二十四日植田署に檢擧されたが取調べの結果同人は昨年十二月中も同僚柳重利君が歸鄕に當り退社手當の受取り方を依頼されたのを奇貨に七十餘圓を橫領着服してゐたことも判明した

## 鰐ヶ淵の
## 投身屍体
### 海岸に漂着

既報、病身を苦に去る四月十九日久之濱海岸鰐ヶ淵に投身自殺を遂げた徵兵適令者――平市堤ノ内食肉行商鈴木甚三郎氏長男正吉君(二一)の屍体は二十三日朝同所附近の海岸に打ち上げられてゐるのを通行人に發見された

### 四倉記念日

四倉　四倉小學校では二十七日の海軍記念日に午前中は小運動會、午後は四倉海岸で自由運動を催すと

### 警部合格者

部警考試第一次試驗はこの程行はれたが平署からは左の如く合格した

△巡査部長島崎哲夫△同瀨戸太平

### 功勞章傳達

平市　大町中野喜平君に對する滿洲國功勞章傳達式は二十五日午前十時から市役所で擧行される

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間 齊唱と合唱「世界唱歌名曲集」ドイツの卷
▼後六、二五 講演「方面委員制度の由來」
▼後七、三〇 國民歌謠「輝く海軍記念日」
▼後七、四〇 講演、理博 三宅驥一
▼後八、〇〇 物語「野口英世とその母」
▼後八、四〇 落語「船徳」桂文樂
▼後九、〇〇 邦樂名曲選 義太夫「一谷嫩軍記」豐竹古靱太夫外

明日の部

▼前七、〇一 朝の修養「大楠公の法華經奥書」子爵小笠原長生
▼前九、四五 幼兒の時間 連續童話「猿とお殿さま」
▼前一〇、二〇 家庭の時間「青梅の話」
▼後〇、〇五 サクソフオン獨奏 長與一郎
▼後三、〇〇 婦人の時間「日本語の美しさ」長谷川時雨
▼後四、三〇 大相撲夏場所實況 千秋樂
▼後六、〇〇 子供の時間 國史劇「七生報國」胡蝶座
▼後七、三〇 國民歌謠「輝く海軍記念日」
▼後七、四〇 講演 中村直勝
▼後八、〇〇 講談「秋色櫻」桃川燕林
▼後八、四〇 箏曲「竹生島」箏黑澤渡世外
▼後九、〇〇 浪花節「婦人從軍歌」壽々木米若

謹啓時下新綠之候御尊家益々御淸祥の段奉慶賀候陳者今般拙者儀主家（鈴木家）の事情により復籍致し候間從前と同樣何卒御交際賜はり度懇願候先は不敢取失禮ながら紙上以て披露申上候

昭和十四年五月
平市北目町九二
新井改め
鈴木滋造
在南洋ポナペ島
長男　鈴木彦一郎

メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二町目
玉屋

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奬め致します
入會臨時
平市田町六九
喜多流謠曲仕舞　白土會
電話一二七番

## 愛憎三度笠

吉川延 作
瀧 秋方 画

……（２６４）……

### 人の影（七）

「知らぬと申してをりますが」

と、この尼僧、片數の宙字に[illegible]ふがごとく、かるやか。源十郎の傲慢を一蹴する。彼は莊として來た。

「何と、知らぬとは何事、只今、こゝへ驅け込んだ尼僧でござる」

と、双肩をそびやかす

「さア、それが、誰やら、こゝには[illegible]な女子たちがをりますから……」

「それでは、尼僧たち全部、こゝへならべてもらひたい」

と、源十郎がさけんだ時、尼僧たちはクス／＼とわらひ出した。さつきから監視しつゝあつたのはこの庵の庵主らしい。老尼よりもなほ優しづかに、

「そなた、さういふ事はおつしゃるものでありません、[illegible]ばない。居らぬと申せば居らぬ。それで御引き取りねがひたい、女ばかりと知つて、亂暴にさせません、當所は何處とお考へになつてをりますか、昔から名高い寂光院もつたいない事をされると罰があたります」

と、いつて又

「南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛」

と、手にした珠數を、つまぐつた。彼は寂光院と知つて、さすがに、手あらい事をつゝしむ心が、電光のやうに閃いた。彼も子供の折から母とともに、平家物語や、源平盛衰記に愛讀した記憶があつた。歴史的に、有名であるばかりでなく、文學的に不朽の名作として殘された、その寂光院を、痴漢と暴力とでけがす事は、何と考へても不謹愼である、源十郎ははやる心を、ぢつとしづめて、

「さては、こなたが、昔有名な寂光院でござつたのか」

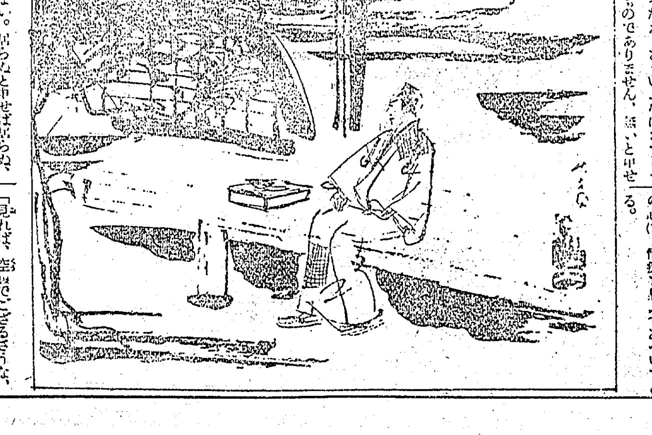
と、うなづいて

「あへて、拙者暴力を用ひようといふのではない、かつて拙者の娘として同棲した綠と申す女、行方不明になつたがために、今日まで御心いたしてゐた次第、幸ひ、こゝで綠の繫つた姿を見たので、一言申しておきたい事があつて、[illegible]ように、さがし出さんとしたまででござる」

「なるほど、聞けばお氣の毒のやうぢ、…、すでに佛の御弟子となつた以上は、俗界に用なきもの、まして當院にをらぬ者であれば、なほ逢はせる事は出來ませぬ」

「なるほど……」

彼は當惑した。ゐるにちがひはないが、をらぬといはれゝばやむを得ぬ。まして、自分の顏を見て逃げだすやうな女である。逢つたところで自分の考へに從ふ筈はない。源十郎自分の顏をもちながら、かうした事柄を知らない道理がないにもかゝはらず、不思議 もの心は、憐憫を想ふてあへいでゐ



「見れば、空腹でござるさうな、こゝで齋るしからねば、精進ものでございますが、膳一杯飯で御馳走になるのがよろしい」

と、庵主はそつと、踵をかへした。源十郎は默然として、臺所に立つたまゝ、どうしやうかと思案にくれてゐるのであつた。

尼僧たちは、はじめこそ彼の顏に恐れをいだいてゐたが、案外物の道理に溫順な男と知つて、やうやく安心したのであらう、源十郎のために、食膳の用意をして、かゆではない白い飯までたいてゐる。

「さア、こゝへおかけなされい、見ればまだお若い身ぞらで、苦勞をしてゐなさるらしい、御氣の毒な事ぢや」

と、老尼の一人が、彼に話しかけた。

「ハア、有難う」

源十郎は臺所の上り口に腰を下した。今一人の尼がくんでくれた番茶を一口

「いろ／＼お手數をかけて相すみません」

彼は、つとめてお綠の事を思ふまいと努力するのであるが、[illegible]の火は、又してももえさかる

# 家庭と婦人

## 女の立場から

## 地方で心打たれたこと

河崎なつ

東北、關西の諸地方に行つて、到るところで心うたれることは、いかに村の人々が、町の人々が力を協せて村を立てなほし町の生活を刷新して現下の國策に副はうかとこれ努めてゐることである

そこでは、毎月村常會、町內會が開かれて必ず各戸一人が出席し、申合せた生活刷新を實行し、貯蓄の實[illegible]をつけてゐる

それをまた家の生活の上に素直に活かしてゐるのは、主婦達で、[illegible]部落、部落で集まつては、經濟の整理から、一[illegible]の集飯から、おせん米の取りまとめから、農繁託兒所のことから、全く行きとゞいた細かい活潑な行動をしてゐる、愛國婦人會とか、國防婦人會とか、農事改良實行組合婦人委員とか、種々の名はついてゐても、事實はその村の婦人達として、村の生活への協力に、しつかり結びついて行きつゝあるところに、生きた大きな力に育つてゐる

東亞協同體への新しい日本の建設は、かうして協力生活の輝かしい總和でなければならない

東京では大勢の知識婦人が、力をあはせて、國家の心に生きようと動き出した、どうか全國的に大きく力強くそだつて。ふさはしい一役を果してほしいものである

---

——家庭メモ——

テーブル掛にコーヒーとかお茶のシミのついた場合には、數日を經過した後でもその部分にグリセリンをなすりつけ、しばらくそのまゝに放置してから普通の方法で洗へばキレイに落ちる

---

## 痛くない齒醫者さん

齒醫者へ行くことの好きな人はおそらく千萬人に一人だつてありますまい、なぜつて、實際あのリガリチクリッ、つてやつは堪う、ですからね、ところで今度米國に痛くない齒醫者さんが出來ました

つまり、科學的鍛錬のもとに治療をつづけながら、一方シュッシュッと二酸化水素と空氣の化合物が患部へ吹きかけられ治療中患部を無感覺にして、決して痛み[illegible]なのです

---

## 始めるなら今

### 冷水マサツの習慣

これから冷水まさつを始めるのに好適の時節ですが、弱い體質の人は最初から冷水摩擦の行はれるよりも、所謂乾燥摩擦を行ひ、順次冷水摩擦に進まれることでせう、秋先から開始した冷水摩擦は非常に長つゞきのする點で特に貴重です

後述しますやうな冷水摩擦の效

寢床のそばに水を用意して置くのも一案

ために最初に摘め水の用意をして置くことも大變いゝことです、冷水摩擦をおこなふ際にはタオルはなるべく固くしぼつて、皮膚が少少赤くなるくらゐに摩擦することです、皮膚面が多少でもぬれてゐるやうな時には、乾いたタオルでお拭きにならねば風邪をひくやうな事になつて折角の冷水摩擦が何んにもなりません

冷水摩擦は必ず自分自身でおこなふべきで他の人に摩擦してもらつては効果は半減します、そして冷水摩擦と同時に深呼吸をおこなふやうにすれば、結果は・さらに良好です

さて冷水摩擦の實質的效果は何よりも皮膚の血行や全身の血行を鍛錬

---

## 牛乳もこれから腐敗し易くなる

赤ちゃんのある御家庭では特に御注意を

牛乳のくさり易い時期になりました、牛乳をくさらせない方法をよく知つて置きませう

牛乳を腐敗させないためには、十度以內の冷藏庫の中に入れておかれることですが、かうした方法を御取りになつても、大體二日間位しか保存できないのが普通です

冷藏庫の設備なき御家庭では、なるべく冷たい水の中につけて置く外仕方ありませんが、保存期間は大體一晝夜程度で、それ以上放置しておいた場合には、中味は腐敗してゐるものと思はねばなりません、この點注意を要します

所謂「低溫殺菌法」による牛乳は、かう云ふ風に時間的に早くふ敗しますから、一[illegible]なことは[illegible]されると同時にお[illegible]みになることでせう

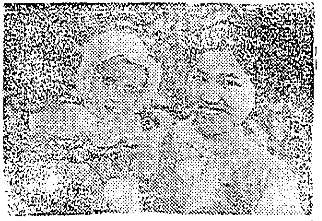
くさつた牛乳は、酸味が生じ蛋白質が分離しますので、水分は水のやうに澄み、底には綿のやうなものが沈澱します、そして、こんな牛乳を呑めばすぐ下痢を起しますから、よく見分けることが大切です

クリームラインと云ひますのは、牛乳の上にあるクリーム色をした脂肪層の境界線ですが、牛乳の善否はこのクリームラインの多少によつて見分けるのが早道です

卽ちクリームラインの多いものほど良質の牛乳なのです、現在の規定では三・一のクリームラインと云ふことになつてゐますが、三・五位のクリームラインの出てゐるものであれば、ビタミンB、Cは多量に含まれてゐると見るべきです

牛乳は冷たいまゝ呑むべきで沸かして呑むべきではありません

なぜかと申しますと、沸かせば折角の低溫殺菌牛乳を高溫度にしてビタミンを破壞させてしまふからです



---

## 噂　十年間無遲刻

他人から見ると妙にスゴイやうに思はれ勝ちな淡谷のり子も、あれで案外人がいゝんだから不思議で彼女もこれを云つて自ら慢してゐるのが「絶對約束の時間には遲れない」と云ふことだ、アトラクションだらうが、ランデブーだらうが（？）必ず十分前には約束の場所へ現れてゐる、しかも、この正確さがナンと十年完全につゞいたんださうで、今年もこれを實行、無遲刻十一年目の記錄を作らうと意氣込んでゐるとか……

---

## 生れてから六歳迄の幼兒の智慧づきは？

### 六ケ月經てば笑ひ顏する

最近の育兒に對する關心は最近いちじるしくなり、兒童相談所へも種々な相談が持込まれます。幼兒の知能テストもその一例です

子供の智慧付きのテストは、今までは三歳以上に限られてゐましたが、こゝでは生後一ケ月から滿七歳までの幼兒の智能テストを極大別しますと——生後三ケ月經つた赤ちゃんは、音が聞るやうになり物をつかみ始めます。之は色の見分けがつき出したのでこの頃は色のある玩具に興味を持ちます。六ケ月の赤ちゃんは寢返りを打ち、周圍の人の表情がわかるやうになり、笑ひ顏をすれば、笑つてそれに答へ、少しむづかしい顏をすると[illegible]が笑ひをします。

又、この頃になると音を聞きわけ、ガラガラ等の玩具を振ると、その方を向きます

九ケ月になりますと、玩具を兩手に持てるやうになります。それ以前は、片手に玩具を持たせ、さらにお手に持たせやうとすると、右手の玩具を落します。此の頃はイヤイヤが出來るやうになります

お誕生の赤ちゃんは、高い高いが出來、つかまり歩きや、つたはり歩きも出來るやうになつて、マンマ、ワンワン等片言が云へるやうになります

一歳半では走つたり、サジを使ふ事が出來るやうになり、大小便を教へるやうになります

二歳になりますと、簡單な命令を守つてそれ[illegible]出來るやうになり、[illegible]つて來ます、この頃は、想像力が發達しますから「ごつこ遊び」や積木遊び等を喜びます

三歳では、ハサミが使へるやうになり、ボタン等がかけられます、又給字や姓、男女の區別も分るやうになります

四歳になりますと、數は四つ位迄數へられ、四角の形を鉛筆で描けるやうになり、この頃、いろんな質問を非常に連發するやうになります

五歳では、片足で立つて身體のバランスをとるやうになり、數を十から十三くらゐまで數へるやうになり、色紙は描くものであると云ふやうに用途によつて物に對して簡單な定義を下せるやうになります

六歳になりますと、左右の區別が分るやうになり、一々數へなくても手の指の數を云へるやうになり、又、この頃に、紙を截[illegible]になります

（白石識作博士談）

---

## 知つておいてよいこと

〇破れ易い襖の[illegible]とか、破損しやすい小學生の[illegible]は、[illegible]ニス（一〇〇グラム十五錢位）を求め、これをハケか筆につけて外部一面にぬり、乾してのち使はれますと、書かれた文字など少しも變れず水分にも強く數倍も丈夫に使はれます

（東京府立工藝學校）

---

## 大陸行進譜

大川兵五作　若山珠美畫

第三十四回

### 黎明

冠省　早速ながら、用件を申し述べ候。貴下の[illegible]縣の青年[illegible]見いたし候ところ、[illegible]なるのにて、この[illegible]は[illegible]に候。これも偏に貴下日頃の御努力の賜にして、貴下のため、[illegible]のため、[illegible]に堪へず候。[illegible]努力とする所[illegible]下にかける、[illegible]大たる[illegible]ならつものにして、貴下は正に銃後の[illegible]に[illegible]するものに候。

たま／＼小生の留守、[illegible]の[illegible]長來合はせ、このことを、それとなく話し候ところ、[illegible]在京中にて買ひ受けしいとの、熱心なる希望に付、[illegible]貴下より[illegible]相談[illegible]され候は[illegible]幸に存じ候。

[illegible]、五萬圓には、[illegible]の[illegible]の金額か、[illegible]の金額か、その[illegible]は貴下と御相談下され度く、貴下の[illegible]を[illegible]び候まゝ、[illegible]までに一[illegible]申し述べ候。不一

岡田[illegible]

北上敏一殿

岡田村長の手紙には、はた目にも[illegible]ぐましいものがあつた。

「しかし……」

敏一は、その[illegible]を二度も三度も、むさぼり讀んでから、[illegible]んで考へ込んだ。

「しかしお母さん、僕の[illegible]を出し拔いて、村の[illegible]に持ち込むとも出來ませんね」

杉江は一應、敏一の手から手紙を取つて、[illegible]しかねてゐた。

「でも、[illegible]のことを[illegible]して下[illegible]のが、[illegible]の、それとこれとは[illegible]のものやないか知ら」

やつと說明を見かけた母の目から、又その說明が見失はれはしないかと、氣になるものがあるやうに、杉江の目はジッと手紙の上に落ちてゐた。

「ハッハッハッ……お母さん、大丈夫ですよ。僕の[illegible]だつて、[illegible]がするだけのことはしますよ。でも、明日は[illegible]に電話をかけて、一應山田先生のところへ行つて來ます。實はね、僕はまだ[illegible]工場に行つてゐることも話してないんです。そのこともあるし、一應先生に相談します」

母の心配さうな顏を見ると、敏一は說明しないではゐられなかつた。一[illegible]の[illegible]はしい[illegible]方である。杉江の耳には、[illegible]ことが強く殘つて消えないのであつた。

「先生に一[illegible]してもいゝですね」

敏一は母の顏を一寸のぞいてから、夕飯の箸を取り上げた。

「さうおし、それが本當だわ」

杉江もホッとしたやうに、箸を握つた。

敏一は、[illegible]の底からこみ上げてくるよろこびに、笑へて仕方がなかつた。

「それからね、[illegible]さんが、明後日から工場に行くんですつてよ」

しばらくして杉江がいつた。

「さうですか、何しに行くんです？」

敏一の心には、杉江が氣づかつたほどの[illegible]見へず、[illegible]のやうに云つたのであつた。

「こちらでやつたお[illegible]を[illegible]ふに行つて三[illegible]やるのださうです。[illegible]さんの兄さんと、[illegible]さんとの相談できまつたとか……」

北上敏一は[illegible]もしなかつた。[illegible]に、[illegible]のやうに[illegible]つて[illegible]

---

外科一般　レントゲン科
內臟外科　泌尿器科

**北川外科**

平市新川町二七　（電話四六四番）
醫學博士　北川芳夫
◎晝夜診療・入院隨時・血液檢査毎日

**中野齒科醫院**

平市田町（松月堂向）　電話五〇九番
院長　日本齒科醫學士　中野憲次
日大齒科醫學士　鹽谷伍郎
主任補綴部　佐藤俊義

◇診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續槽工科
小兒齒科、槽膿漏科、齒列矯正科
一、口腔外科
一、レントゲン科

開院

齒科全般
口腔外科
齒列矯正

平郵便局ウラ通リ
平市南町四十五
**鈴木齒科醫院**
東京齒科醫學士　鈴木與一郎

**平病院**（電六四一番）
平市警察署側（元共濟病院跡）
院主　醫學博士　鈴木定藏

| | | |
|---|---|---|
| 內科 | 院長 | 鈴木定藏 |
| 小兒科 | 副院長 | 土井利明 |
| 一般外科<br>內臟外科 | 副院長 | 高橋俊幸 |
| 皮膚泌尿器科<br>レントゲン科<br>物理的療法科 | 院長 | 鈴木定藏 |
| 藥劑科 | 部長 | 吉本孝平 |

◎診療時間　毎日午前八時ヨリ午後九時迄
（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）
往診隨時
病室完備…入院隨時〔自炊ノ便アリ〕
入院料　一日　特等貳圓・一等壹圓五拾錢　二等壹圓參拾錢

**實株は買ツテ御手元へ必ズ儲カル優良株**

投資指針

◎支那事變公債四萬圓マデ買マス。

平市四丁目三十三
**富岡株式店**　電話二五八番

**お醤油はヤマフル**

醤油　味噌
たひら正宗
鰹節　食料品

福島縣平市
醸造元　**鹽屋**
明治生命磐城代理店
山崎與三郎
電話一〇　二七番

**三井タクシー**
平　二　電話六八五番

吸入用酸素　99%純度

度量衡　モノサシ　マス　ハカリ
計量器　體溫計　寒暖計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

**開內藥局**　電話四〇番

◎寫眞材料一式販賣致シマス

**家相**　大教正　石島德長　鑑定

便利に住みよき新築住宅、地理家相の設計と製圖採光保溫通風、保健衛生上、合理的な、家相改造病災火難の防止と、開運、昇榮に確信ある新設備僅少の改造工費で家運向上する、適確な秘法相談

地理家相　夫婦相性　適業撰擇　奇門遁甲　招福開運

平市白銀町
鑑定所　**石島陰陽館**　電話六五〇番

男女理髪　助手入用　半助手用
〔履歴書送レ〕
東京市荒川區町屋一ノ六一二番地
**カネカワ理髪館**
電話下谷(83)[illegible]

國旗と提灯

私は平市出生ですから特に鄕里の皆様方の爲に御便利を圖ります

**旅館　大幸館**

主人　比佐棟雄
東京上野驛前（下谷郵便局横通角）
電話下谷六七七番

**吉田眼科醫院**

平市紺屋町　電話六八番
醫學士　吉田久雄

メガネは！
平市二丁目
**玉屋**

**石川のすきやき鍋**
初めました

最近東京で高評有る初夏よりの牛料理は本場肉のすきやきでおろしの美味のよさ
ドーゾ、お試食下さいマシ

牛料理　平市田町銀座通り
**石川亭**　電話四三番